

職業生活を送る中で、あの時、あの問題が起こった時、誰かに相談できていればよかったのにとか、誰かに聞いてもらえたら違う選択があったかもしれないと思つた経験はどなたにもあると思いま

ナビゲーター

す。

EAP(Employee Assistance Program)は、メンタルヘルス不調の従業員を支援するプログラムのことです。

厚生労働省が定める「労働者の心の健康の保持増進のた

◆45◆

働く人と組織

働きやすさの獲得と働きがいの創出

めの指針」の中では、メンタルヘルス対策推進のために「四つのケア」が重要とされています。「四つのケア」とは「セルフケア」「ラインによるケア」「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」「事業場外資源によるケア」です。

EAPは、四つ目の「事業場外資源によるケア」に当てはまり、社外の機関によって行われ、従業員は自分の悩みを社内の人に知られることなく、専門家に相談することができます。企業が、カウンセリングなどメンタルヘルスを専門に行うEAP会社と契約

カウンセリングのアウトソーシング

し、自社の従業員のカウンセリングを企業の負担で行うもです。もともとEAPの発祥はアメリカで、アルコール依存、薬物依存が深刻化し業務に支障をきたす社員が増加したことに対応するために1960年代から発展してきました。

日本においても1980年代後半から浸透してきています。社員の抱える問題、職場の抱える人間関係などの問題を個人的問題として処理してきた日本の企業でも、社員を取り巻くさまざまな問題が出現したときの対応コストをリスクマネジメントとして考えるようになりました。さらにCSSR(企業の社会的責任)の視点からも、EAPを導入する企業が増加しています。EAPはメンタルヘルスケアやさまざまな問題解決の他にも、個人や組織のパフォーマンスを向上させるポジティブ

企業からの、これまでに遭遇したことのない危機的出来事への対応のご依頼などにもEAPはスピード感をもって対応します。

社会が急速に変化している今、働く現場の問題はさらに多様化、複雑化しています。気軽にご相談していただくことが、相談者と組織の双方の早期の問題解決になります。また、従業員の家族も無料でカウンセリングを受けることができます。

【キャリアコンサルタント
1級技能士 シニア産業カウンセラー 志水友子】

(火曜日に掲載)

